

令和元年度(2019年度)

事業報告及び決算書

自 平成 31 年 4 月 1日

至 令和 2 年 3 月 31日

公益財団法人いばらき文化振興財団

目 次

I 事業報告	1 ~ 23
II 決算報告書	24 ~ 36

I 事業報告

総括的事項	1
1 公益目的事業 1 (文化振興事業)	1 ~ 6
2 収益事業 1 (県民文化センター自主事業)	6
3 公益目的事業 2 (水族館事業)	7 ~ 21
4 収益事業 2 (水族館売店事業)	21 ~ 22
5 法人運営事業	23

I 事業報告

公益財団法人いばらき文化振興財団の設立趣意に則り、県民のニーズを踏まえた魅力ある文化振興事業を行い、個性豊かな地域文化の創造を図るため次の事業を行った。

総括的事項

第4期中期経営計画（2016年度～2020年度）に沿った運営に努めた。

- (1) 文化芸術活動への助成については、自主的で個性的な文化活動団体等48件に対し財政的な支援を行ったほか、新進演奏家の育成・支援等、個性豊かな本県文化形成を推進するため6事業を実施し、本県の文化芸術の振興に努めた。
- (2) 文化芸術に接する機会の提供については、伝統芸能をはじめ、クラシック音楽、舞踊等を計画し個性豊かな県民文化の振興を図ったが、台風21号や新型コロナウイルス感染拡大の影響で5事業が中止・延期となり18事業の実施となった。
- (3) 茨城県立県民文化センターの運営については、指定管理者として施設利用の促進をはじめ、利用者サービスの向上と施設の適正管理に努めたが、10月の台風21号の影響による大雨で分館地下浸水被害や新型コロナウイルス感染拡大の影響により、施設全体の利用者数は513,727人となった。
- (4) アクアワールド茨城県大洗水族館については、水族館が本来持っている「展示」「普及」「研究」の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして効果的かつ円滑な展示と運営に努めるとともに、栃木・埼玉等近隣の道の駅、文化施設等でのPRをはじめ、SNSを含む様々な媒体を活用した誘客活動を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、2月以降の団体予約のキャンセルや一般利用者の大幅減少がみられ、入場者数は1,054,343人となった。

1 公益目的事業1（文化振興事業）

(1) 文化振興推進事業

ア 文化芸術活動への助成

県内各地において、自主的で個性的な文化活動を行っている文化団体等に対して一部を助成し、県民の自主的・個性的な文化活動を支援奨励した。

申請件数	交付決定件数	助成件数	助成額
69	55	48	13,486千円

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により5件は、令和2年度に実施。

イ 参加創造事業（6事業）

地域音楽団体の活性化及び新進演奏家の支援育成を目的に、地元高校吹奏楽団体がプロの金管アンサンブルと共演・交流をする演奏会と新進演奏家のレベルに合わせた各種の演奏会を実施した。

入場者数については、ブラスフェスティバル2019の海外招聘アーティストである「セプトゥーラ金管アンサンブル」の演奏技術の素晴らしさを広報に繋がらなかったことが大きな要因で計画を下回ったが、収支については、経費の軽減等を行った結果、計画は上回った。

実施日	公演名	会場	回数	入場者数
6月16日(日)	地域音楽活性化事業 ブラスフェスティバル2019 「セプトウーラ」金管アンサンブル	大ホール	1	1,081人
8月4日(日)	新進演奏家支援・育成事業 「新人演奏会歴代受賞者コンサート」	小ホール	1	291人
9月29日(日)	第45回茨城県新人演奏会	大ホール	1	701人
11月23日(土)	新進演奏家支援・育成事業 「新人演奏会受賞者コンサート」	常陽藝文センター	1	255人
2月9日(日)	新進演奏家支援・育成事業 「ミュージックカフェVol.5」	小ホール	1	260人
7月27日(土) 8月24日(土) 11月29日(金)	新進演奏家支援・育成事業 「サロンコンサート」	グリル 「モンマルシェ」	3	142人
計6事業			8	2,730人

ウ 受託事業 (3事業)

将来の文化芸術の担い手の育成や県民に質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供し文化への関心を高めることを目的に、オーケストラやオペラの鑑賞事業と文化体験出前講座を実施した。

鑑賞事業では、SNSを活用した情報発信や音楽愛好家団体への積極的な営業等で入場者数は計画を上回り、より多くの県民に対して質の高い舞台芸術を提供することができた。

また、文化芸術体験出前講座では、音楽家による生演奏や専門家による文化の歴史や技術の解説など授業では、経験することができない体験型プログラムを実施し、学校要望に沿った文化芸術を伝えることができた。

実施日	公演名	会場	回数	入場者数
8月31日(土)	みんなで楽しむオーケストラ	常陸太田市民交流センター ・飛田和華（ヴァイオリン）	1	740人
9月1日(日)		ひたちなか市文化会館 ・住谷美帆（サクソ）	1	1,091人
10月26日(土)	トリエステ・ベルディ歌劇場「椿姫」	県文大ホール	1	1,022人
5月～2月	文化芸術体験出前講座 ・音楽：49校 ・美術（絵画・書・陶芸）：15校 ・伝統文化（華道・茶道）：13校 ・子ども文化芸術大学：9校 （演劇・声優・落語・三味線）	県内小中高等学校 特別支援学校	86	12,126人
計3事業			89	14,979人

エ 地元演奏家等への支援

県内公立施設等への演奏家派遣（6件、6名）や文化活動団体等への後援（10件）を実施し、県内で活動している文化団体等への支援を行った。

(2) 県民文化センター指定管理事業

ア 公演事業（主催 4 事業，共催 14 事業，計 18 事業）

県民が幅広く享受できる芸術鑑賞機会の拡充を図ることを目的に、歌舞伎やクラシック音楽はじめ多種多様なジャンルの公演を実施した。

開館以来、黒字がなかなか見込めなかった松竹大歌舞伎公演は、歌舞伎専用 Web サイトを活用した情報発信や鑑賞団体・愛好家団体への積極的な営業，企業の福利厚生事業の活用等で入場券は完売となり入場者数，収支面共に計画を大幅に上回ることができた。

なお，事業全体としては，入場者数・収支とも計画を上回っていたが，台風災害や新型コロナウイルス感染症拡大の影響で，多くの公演が中止及び延期となり入場者数及び収支は計画を下回る結果となった。

区分	ジャンル	実施日	公演名	会場	回数	入場者数	
主催	伝統芸能	4月7日(日)	松竹大歌舞伎	大ホール	1	1,452人	
	その他	4月7日(日)	歌舞伎鑑賞講座	小ホール	1	357人	
		10月26日(土)	オペラ鑑賞座	小ホール	1	349人	
	演劇	12月15日(日)	東京演劇アンサンブル 「はらっぱのおはなし」	大ホール	1	465人	
共催	音楽 クラシック	12月14日(土)	高嶋ちさ子と12人の ヴァイオリニスト	大ホール	1	1,460人	
		1月10日(金)	辻井伸行ピアノリサイタル	大ホール	1	1,500人	
		2月2日(日)	ローマ・イタリア管弦楽団 「映画音楽名曲集」	大ホール	1	653人	
	音楽 ポップス	6月21日(金)	Masayuki Suzuki taste of martini tour 2019	大ホール	1	1,458人	
		9月21日(土)	玉置浩二 コンサートツアー2019	大ホール	1	1,454人	
		10月14日(月・祝)	アリスコンサート	大ホール	1	1,303人	
		2月16日(日)	財津和夫 2020 concert with 姫野達也	大ホール	1	1,274人	
	音楽 その他	6月8日(土)	加山雄三コンサートツアー 2019-20 START	大ホール	1	920人	
		7月21日(日)	ブラスト!	大ホール	1	1,466人	
		9月22日(日)	大野俊三コンサート	大ホール	1	1,163人	
		9月23日(月・祝)	ふるさとの詩人 高野公男と船村徹の友情を奏う	大ホール	1	889人	
	舞踊	12月6日(金)	華麗なるダンス・哀愁の歌声 「アルゼンチンタンゴ2019」	小ホール	1	214人	
		12月21日(土)	キエフ・バレエ 「くるみ割り人形」	大ホール	1	850人	
	演芸	9月11日(水)	三遊亭小遊三・林家たい平 二人会	大ホール	1	877人	
	計 18 事業（主催 4 事業，共催 14 事業）					18	18,104人

イ 施設の利用促進及びサービスの向上

文化活動の拠点施設として、利用者のニーズに対応しながら安全・安心で快適に施設が利用できるよう管理運営にあたったほか、新規で国際会議や全国大会等を誘致するための活動を行い施設全体の利用促進に努めた。

また、開館から50年以上が経過し施設の老朽化が進行していることから、利用者の安全確保等を目的として修繕を実施し、施設の長寿命化を図るとともに利用者が安全・安心で快適に施設を利用できるよう努めた。

利用者数においては、昨年10月の台風19号による2公演中止、台風21号による分館地下浸水のため分館集会室が使用不可となるなど大きな被害がでたため、1月末までは計画対比9,200人減、利用料金収入1,292千円の減となった。

その後、新型コロナウイルス感染拡大の影響により大・小ホール、一般展示室、県民ギャラリーの催し物が延期または中止となり、2・3月では48,301人減、6,618千円の減となった。

(ア) 施設の利用実績

() は計画数値

区分	利用者数(人)	利用日数(日)	利用料金収入(円)	利用率(%)
大ホール	226,552 (255,800)	255 (264)	57,569,520 (62,530,000)	82.5 (84.0)
小ホール	60,165 (62,900)	222 (228)	10,752,050 (11,304,000)	73.0 (75.0)
本館集会室	72,494 (85,900)	282 (305)	5,401,162 (6,179,000)	89.5 (96.0)
分館集会室	34,373 (39,000)	298 (316)	11,041,011 (11,203,000)	91.7 (92.7)
和室(本館)	3,300 (3,670)	138 (168)	1,194,296 (1,448,000)	43.7 (52.6)
一般展示室	58,019 (61,700)	221 (259)	5,283,400 (5,797,000)	72.5 (82.0)
県民ギャラリー	57,081 (61,000)	194 (240)	3,598,920 (4,453,000)	61.6 (77.7)
練習室	1,743 (1,330)	100 (76)	391,920 (229,000)	28.8 (22.0)
計	513,727 (571,300)	1,710 (1,856)	95,232,279 (103,143,000)	67.4 (72.3)

※利用率は、利用可能日に対する利用日数の割合。

(イ) 1月限定割引による利用促進

閑散期の利用促進を図るため、ホームページ等を活用し広報の充実を図るとともに、1月限定の施設利用料金50%割引を引き続き実施した。

計画では展示棟の改修工事が予定され、割引対象施設は大ホールのみであったが、改修工事に日程調整後、工事予備日でおさえていた小ホールや和室1号を開放し貸し出し利用日数が増えたのと合わせて、継続事業による割引制度の周知が図れたため昨年度実績対比で13.8ポイント上昇し計画を上回った。

区分	実績	計画	比較増減
利用日数(日)	22	16	6
該当利用人数(人)	13,469	13,100	369
利用率(%)	84.6	66.7	17.9

※一般展示室及び集会室前廊下改修工事により、対象施設は大ホールのみ

(ウ) 新規利用者（団体等）及びリピーターの確保

リーフレット「催し物ご案内」を毎月 11,000 部作成し、県内の集客施設など約 500 団体へ配布するとともに、ホームページで催事や施設の空き状況等の情報発信、県内外企業等へのダイレクトメール発送により、新規利用団体の開拓及びリピーターの確保に努めた。

（新規申込件数：103 件、昨年度：84 件）

(エ) 各団体との連携

コンベンション誘致活動を県や水戸観光コンベンション協会と連携し、国際会議や全国大会等の誘致を行った。全国持ち回り開催されている大会及び学会の中から、東京都内に主催本部がある団体から 54 ヶ所を選定し訪問活動した。

結果として、関東甲信越静学校保健大会の令和 3 年度が決定した。

(オ) サービスの向上

来館者と主催者双方を対象とした満足度調査（アンケート調査）を毎月実施し、調査結果を基に不具合等の諸問題を解消し（25 件中 10 件）、利用者サービスの向上に努めた。

また、インターネットによるチケット購入システム稼働に向けた整備を行った。

(カ) 県民文化センター友の会の運営

主催事業の支援と広く文化芸術に触れる機会の提供を目的として友の会を運営し、会員のニーズに応えるべく各種事業を実施した。

また、会員増を図るため、貸館利用のコンサートについても友の会先行予約や割引の設定を拡充し、会員数減少に歯止めをかけた。

会員数	1,995 人（令和 2 年 3 月 31 日現在）（昨年度 1,995 人）
友の会だより発行部数	年間 29,400 部
事業内容	研修旅行会（年 1 回開催）、観劇会（年 2 回開催） 総会及びアトラクション等の開催 チケット割引等各種会員向けサービスの実施 友の会ガイドブックの配布 他

(キ) スタインウェイを体感しようの開催

県民文化センターが管理するスタインウェイ社製のフルコンサートピアノの有効活用と良好な状態を維持管理するため、希望者に対し無料で演奏機会を提供する事業を開催した。

なお、参加者においては、体験回数に偏りがでないよう公平性を保ち開催した。

（実施数：7 回、応募総数：128 人、参加人数 53 人）

ウ 安全・安心で快適な施設づくり

(ア) 施設整備

利用者の利便性向上・安全確保及び施設の老朽化対策を図るため、中期修繕計画（平成 28 年作成 5 年目）及び単年度計画を元に県と協議のうえ、指定管理事業部門修繕工事及び県直轄工事を実施した。

<指定管理事業部門修繕工事>

大ホール入口御影石防滑工事など 46 件の修繕工事を行った。

<県直轄工事>

一般展示室床張替及び集会室廊下全面改修工事など 6 件の修繕工事を行った。

(イ) 危機管理対策

職員の危機管理意識と対応力の向上を図るため、職員や委託業務従事職員及び分館入居団体を対象に防災訓練を年2回実施した。(地震訓練、火災訓練)

2 収益事業1 (県民文化センター自主事業)

(1) グリル事業

県民文化センターで開催される各種コンサートや展覧会等で来館する利用者の利便施設としての役割を果たすとともに、利用者へのサービス向上に努めた。

なお、グリル「モンマルシェ」は、令和元年12月1日をもって閉店し、県が選定した後継事業者、キッチンハウス「和」を開設、1月初旬から営業を開始した。

売店利用者数においては、台風や令和元年12月から始まった集会室廊下全面改修工事の影響により、利用人数が下がった他、令和2年2月下旬から新型コロナウイルス感染拡大の影響により文化センター利用者が急減し、計画を下回った。

事 項	実 績	計 画	比較増減
グリル利用者数	18,925 人	28,000 人	△9,075 人
売店利用者数	28,699 人	33,000 人	△4,301 人
合 計	47,624 人	61,000 人	△13,376 人

※グリルは令和元年12月1日まで

※グリル利用者数は、ホール利用者のほか、弁当注文者及びパーティー(宴会)等を含む。

(2) 駐車場事業

茨城県から管理許可を受けた千波公園・県民文化センター前駐車場を利用者が安全かつ円滑に利用できるよう管理運営を行った。(利用に供した日数：366日)

利用状況においては、新型コロナウイルスの影響による県民文化センター催事中止により利用台数は減少したものの、近代美術館の特別展「手塚治虫展」(6月15日(土)～8月25日(日))が好評により計画台数を上回る実績となった。

区 分	実 績	計 画	比較増減	
利用台数	146,478 台	145,600 台	878 台	
料 金 徴 収 状 況	全額徴収	41,559 台	44,200 台	△2,641 台
	1/4 免除	23,709 台	27,200 台	△3,491 台
	1/2 免除	8,397 台	8,500 台	△103 台
	全額免除	47,613 台	53,000 台	△5,387 台
	還 付	25,200 台	12,700 台	12,500 台

3 公益目的事業 2 (水族館事業)

アクアワールド茨城県大洗水族館は、基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通し、生物の多様性や自然環境・地球環境について、楽しみながら学ぶという教育と娯楽性を兼ね備えた施設として運営を行った。

また、水族館が本来持っている「展示」「普及」「研究」の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして効果的かつ円滑な展示と運営に努めた。

令和元年度は、大型台風上陸による関東地方での大規模停電や新型コロナウイルス感染症感染拡大による外出自粛要請など悪条件が重なった年であった。福利厚生受託事業者との連携や県内・栃木県・埼玉県における大型集客施設での各種キャンペーン活動の実施、メディアへの積極的な情報発信に努めたものの総入場者数は、目標の120万人を大幅に下回る1,054,343人となった。

(1) 入場者実績

入場者数

(単位:人)

区分	元年度 (A)	30年度 (B)	比較増減 (A)－(B)	元年度計画 (C)	比較増減 (A)－(C)
一般	520,763	521,911	△1,148	982,550	△113,164
団体等	348,623	397,919	△49,296		
年間パスポート	14,388	12,707	1,681	15,400	△1,012
年パス2回目以降	57,201	61,466	△4,265	62,050	△4,849
有料入場者計	940,975	994,003	△53,028	1,060,000	△119,025
無料入場者	113,368	125,810	△12,442	140,000	△26,632
総入場者	1,054,343	1,119,813	△65,470	1,200,000	△145,657

※前年比較

団体等内訳の土曜日割引料金廃止により3万人減少した分を、一般入場者で増加していたところ、新型コロナウイルス感染症の影響により3月で5万9千人減少したことが、減少の大きな要因であった。

一方、10月入場料金改定により、年間パスポート料金を来館2.2回から2回分に変更したため、コロナの影響があるなか、1千6百人の増となった。

※計画比較

年間入場者120万人の目標に対し、上記理由により14万5千人余のマイナスとなった。

(2) 飼育展示事業・調査研究事業

ア 魚類展示

魚類の飼育機器・施設の適切な管理を行い、生物の健康管理と安定した飼育環境作りに努めた。

また、採集、購入、寄贈等の生物収集や繁殖した生物により、展示生物の更新や新規生物の開拓を行い、フレキシブルな展示を心がけ、広報誘客に繋げるべくそれらの情報発信を積極的に行い話題の提供に努めた。

(ア) 展示生物収集

各水槽の展示の充実を図るため、会瀬定置網や地元漁業者からの購入・寄贈、自家採集、他園館との生物交換等を実施した。(計283回、収集生物点数450種68,004点)

(展示生物収集実績)

収集方法	回数	種類数	点数	主な生物
会瀬定置網から購入	35	53	371	シロシュモクザメ、コブダイ、シイラマンボウ 他
活魚業者、漁業者から購入 (会瀬定置網を除く)	113	135	50,815	マイワシ、スタウナギ、ゴシキエビ サワガニ 他
漁業者等からの寄贈	51	49	5,398	キタクダヒゲガニ、カワアナゴ コバンザメ、ヌマガレイ 他
県調査船 (いばらき丸)からの寄贈	12	48	536	サンゴノフトヒモ、サケビクニン ダーリアイソギンチャク 他
自家採集 (涸沼、大洗マリーナ等)	42	88	7,550	イサザアミ、シラウオ・シロウミウシ メンダコ 他
生物交換【搬入】 (室蘭水族館、なかがわ水遊園 加茂水族館 他9園館)	14	47	493	アツモリウオ、スケトウダラ、クラゲ類 他
生物交換【搬出】 (室蘭水族館、なかがわ水遊園 下田海中水族館 他10園館)	16	30	2,841	ダンゴウオ、ギンザケ、ドチザメ オオクチイシナギ、クラゲ類 他

(イ) 生物展示の充実

- 「大陸棚No.2 水槽」は、水槽幅に対して水深が深いため底生性の生物が目立たなく、特に小型生物の展示が難しかった。そこで槽内に小型生物に焦点を当てるために新規に小型底生成物展示用の小割ケースを新規に設置し、生物を見やすくした。これにより展示種数は15種80点から20種90点となり、食害の可能性からこれまで展示できなかったマツカサキンコ、シロウニは当館初展示となった。
- 「オホーツクの海 1~4」を「おもしろ生物 1~4 水槽」とし、高知県室戸市および静岡県沼津市沖（駿河湾）の深海生物へと展示の刷新を図った。4槽で27種114点の生物を展示し、そのうちナダイチョウガニ等14種が当館初展示となる生物を展示することができた。
- 室蘭水族館（姉妹水族館）との生物交換で、オホーツクホンヤドカリ、サケビクニン等を搬入し、オホーツク海や深海関係の展示の充実に努めた。
- 日本では2館のみで展示している稀少なイモリザメは、3月31日現在で飼育日数が6,606日に達し、日本における飼育記録を更新中である。
- 第27回企画展「食ざんまい」、第28回企画展「THE サバイバル」において生体展示や付帯事業を行った。それぞれ、エゾアワビ等12種1,000点、ミミックオクトパス等20種100点を展示した。
- 茨城県の絶滅危惧種に指定されているヤマメ無斑型を展示し、周知と種の保存に努めた。

(ウ) 生物の繁殖育成

サメ・エイ類では、インドネシアンスペックルドキャットシャーク・タイワンザメ等 12 種約 160 点、ナースハウンドに単為生殖が見られた。サメ・エイ以外の生物では、ダンゴウオ・ポットベリーシーホース・ケスジヤドカリ・ハリセンボン・ババガレイ等 8 種、クラゲ類ではタコクラゲ、アマガサクラゲ等 8 種が繁殖し、一部を展示に供した。

種保存を目的とするムハンヤマメは人工授精による繁殖を試みたが、十分に成熟した親魚を得ることができず、採卵ができなかったため未達成になった。今年度は「花貫川清流の里づくり会」より新規に受精卵を搬入し、稚魚の育成を行った。

サンゴノフトヒモは水槽内で産卵が見られ得られた受精卵からふ化幼生を得ることができた。生存期間は 1 週間程度であったため、育成は今後の課題である。

シロワニは継続して飼育水温や照明時間を調整し繁殖を試みているが、繁殖には至っていない。今年度も 1 回交尾が観察できたため、継続して観察を行った。

(エ) 調査・研究

- ・茨城県に来遊するサメ類の調査として、シロシユモクザメ等 4 種 10 点を収集し、各部位を計測後解剖しデータを収集した。また、シロシユモクザメについては長期飼育（半年以上）することができた。
- ・ウミガメ類の漂着調査で、アカウミガメ 11 個体を NPO 法人エバーラスティング・ネイチャーとの共同研究として解剖し、胃内容物などのデータを収集した。
- ・大洗マリーナ内で 8 回の潜水目視調査を行い、季節毎の来遊魚を観察し、一部を採集展示した。
- ・中央水産研究所と共同でナースハウンドとトラフザメの単為発生について DNA 解析を行った。
- ・シロワニ繁殖協議会の小笠原島でのシロワニ行動調査に参加し、シロワニ 5 個体にポップアップタグを取り付けた。

(オ) 研究発表

- ・ニチリンヤナギクラゲに与えた代用餌料の有効性（日本刺胞・有櫛動物研究談話会；口頭発表）
- ・ナースハウンドとトラフザメで確認された単為生殖（軟骨魚類研究会：口頭発表）
- ・飼育下におけるケスジヤドカリの繁殖と成長（公益社団法人日本動物園水族館協会全国水族館飼育技術者研究会：口頭発表）
- ・オスがいない飼育下で単為発生したナースハウンド（公益社団法人日本動物園水族館協会関東東北・北海道ブロック水族館飼育技術者研究会：口頭発表）
- ・飼育下におけるキンチャクガニの幼生発生（日本甲殻類学会：ポスター発表）

(カ) 展示解説等

水中対話ショー「アクアウォッチング」において、夏期特別展・クリスマスなどの館内イベント開催中に特別バージョンを実施したほか、サメやマンボウ、出会いの海の大水槽で飼育員による給餌解説を実施した。

また、館内及びバックヤードの案内を希望する団体等に対して臨時解説を実施した。

(キ) ミュージアムパーク茨城県自然博物館水系展示水槽管理委託事業

県自然博物館の水系展示水槽の委託業務として、展示生物の入手及び水槽・水質の維持管理を行い、令和2年3月末現在、ニッコウイワナ・ウグイ・ドチザメ等91種1,170点を展示した。

また、館外においては、大洗マリーナでの潜水採集、いばらき丸底曳き網乗船調査等で収集を行い展示生物の充実を図ったほか、海の日やサイエンスデーでは、「バックヤードツアー」事業に協力し、標本資料の保管、博物館の定期刊行誌に寄稿するなど、博物館との連携協力を努めた。

イ 海獣展示

展示については、イルカ・アシカオーシャンライブの充実を図り、変化に富んだ演技などで誘客促進に努めた。

なお、生物の生態等情報の提供及び閑散期の誘客対策として、イルカ・アシカの生態や健康管理方法などを解説するレクチャー型ライブを、1月14日から3月13日の平日に実施した。(計42日間)

繁殖事業については、生物の血縁関係や雑種防止などを考慮してペアリングさせ、健全な繁殖計画を推進したほか、誘客に結び付く話題性の高い新規搬入動物導入を計画して、4月20日にカナダカワウソ2頭(オス、メス)を搬入し、10月26日から一般公開を開始した。

なお、当館で令和元年6月に生まれたカリフォルニアアシカ(オス)の愛称を一般公募し、名前が「あさひ」に決定し、命名式を3月21日開催し、屋外水槽で展示を実施した。

また、搬出動物については、平成23年8月に埼玉こども動物自然公園より譲渡されたカピバラ(オス)を、6月20日に宇都宮動物園へ輸送した。

調査研究については、茨城県沿岸に漂着及び混獲した生物の調査、研究を関係団体と協力して実施した。

(ア) 展示の充実

オーシャンライブについては、夏期、ハロウィン、クリスマスと1年を通じて変化に富み季節感ある構成に心掛けた。特に夏期期間は、ロケットジャンプなどの水中パフォーマンスを取り入れ、見ごたえのある演出を展開した。

生態や健康管理方法を解説するレクチャーライブは内容の充実を目標としており、「鰭」をテーマに昨年よりも解説画像を多く取り入れるほか、動物の演技種目を増やし実施時間も延長した。

(イ) 生物繁殖事業の推進

鯨類は、バンドウイルカの「ミント」の妊娠が確認でき、3月30日に仔獣(体長:129.5cm, 体重:17.8kg, 性別:メス)を出産したが死産であった。

鰭脚類^{ききやくるい}は、カリフォルニアアシカ(愛称:ココ)が妊娠をし、6月17日仔獣(性別:メス, 体重:7.49kg, 体長:68cm, 4日令)を出産し順調に育成中である。

エトピリカは、10卵の産卵が確認され、5羽が順調に成長している。

また、フンボルトペンギンについても、5羽が順調に育成中である。

(ウ) 調査・研究活動の推進

漂着については、鯨類 22 件、鰭脚類 1 件、混獲については鯨類 1 件（ミンククジラ）の調査を実施し、各種データの収集に努めた。

平成 30 年 9 月に死亡したオキゴンドウ（愛称：ソラ）の死亡原因がクロストリジウム属菌の感染によることが判明した結果を受け、現在飼育している鯨類 6 個体の腸内フローラを県北家畜衛保健衛生所に協力を頂き調査解析した。

(エ) 展示解説等

6 種（エトピリカ、ゴマフアザラシ、フンボルトペンギン、ミナミアメリカオットセカピバラ、カナダカワウソ）の給餌解説「お食事タイム」を実施した。

なお、新規給餌解説プログラム開発を目標としており、カナダカワウソの給餌解説について、1 月 1 日から新規に開始することができた。

また、新規事業として、「イルカと泳ごう 2019」を 7 月から 9 月にかけて、計 17 回実施し、参加者は 51 名で大好評であった。

(3) 教育普及事業

生物や環境について、誰もが気軽に楽しみながら学ぶことができる活動を目的に、展示物及び設備や人材の活用を図り、館内外で解説・講習・自然体験塾等の活動を実施した。

ホームページや機関誌を通して水族館に関連した各種情報の提供に努めるとともに、学校等からの要請により、自然観察会や講演会等への講師派遣のほか、移動教室を開催した。

教育機関からの実習・職場体験学習等各種団体の研修の受入れを行うとともに、生涯学習施設としてボランティア活動支援を行った。

新規プログラムとして、プレミアム探検ツアー（有料）を実施したほか、「森と海をつなぐ」をテーマに大子町との協定を取り交わした。施設においては、タッチング水槽を新規オープンした。

ア 発見体験学習

自然体験塾や大人向け講座「マスタースクール」、「さかなの絵コンクール」等の事業を実施した。

今年度の自然体験塾講座については、前年度人気のあった 23 事業を計画し実行した。応募人数 1,866 人については、全体の定員の約 4.8 倍と、依然人気のある事業であることが伺える。しかし、人気のある事業とそうではない事業との差があり、事前のキャンセル防止等含め今後検討して行く必要がある。また、大人向け講座に関しては応募が少ないため、体験できる内容等を加えるなど工夫に努めていく。さかなの絵コンクールについては、236 人の参加者であったが、更なる参加者増を目指して絵画の展示方法等を検討していく。

(自然体験塾：23事業，定員388人，応募総数1,866人，参加総数272人)

実施日	内 容	対 象	定員	応募者数	参加者数
4月14日(日)	イルカトレーニング®の秘密	小学4年生以上	15	40	15
4月21日(日)	磯の生き物探検	小学生以上と保護者	20	66	20
5月11日(土)	ペンギン飼育体験	小学1〜3年と保護者	10	70	11
5月18日(土)	イソギンチャクの秘密	小学生以上と保護者	20	40	21
6月2日(日)	バッコ釣り	小学生以上と保護者	20	136	19
6月15日(土)	船から探る大洗の海	小学生以上と保護者	24	83	中止
6月22日(土)	那珂川中流大探検	小学生以上と保護者	15	46	12
6月29日(土)	サメ飼育体験	小学生以上と保護者	15	232	16
7月26日(金)	海の動物たちの健康管理	小学4年生以上	10	64	11
8月4日(日)	親子で飼育体験(魚類編)	小学生以上と保護者	15	131	16
8月25日(日)	親子で飼育体験(魚類上級編)	小学4年生以上	15	82	13
8月31日(土)	親子で飼育体験(海の動物編)	小学生以上と保護者	15	237	15
9月29日(日)	アシカ飼育体験	小学1〜3年と保護者	10	121	12
10月12日(土)	イルカの体の秘密	小学4年生以上	10	12	中止
10月19日(土)	ワークショップ「空想すいぞくかん」	小学生	45	23	23
11月3日(日)	魚の体のつくりを調べよう	小学4年生以上	10	10	10
11月9日(土) 2月29日(土)	カムバックサーモン	小学生以上と保護者	15	14	中止
1月18日(土)	ビーチコーミング	小学生以上と保護者	20	53	中止
1月25日(土)	「かまぼこ」づくりにチャレンジ	小学生以上と保護者	25	50	22
2月2日(日)	トレーナーってどんな仕事？	小学4年生以上	10	50	9
2月15日(土)	クラゲのふしぎ	小学生以上と保護者	14	86	14
2月22日(土)	イルカ飼育体験	小学1〜3年生と保護者	15	195	13
3月14日(土)	アユのふしぎ	小学生以上と保護者	20	25	中止

(大人向け「マスタースクール」：4事業；定員60人，応募総数94人，参加者43人)

実施日	内 容	対 象	定員	応募者数	参加者数
5月26日(日)	イルカ・アシカの不思議	中学生以上	15	17	15
9月8日(日)	マンボウに迫る	中学生以上	15	20	13
12月15日(日)	サメのからだの秘密	中学生以上	15	40	15
3月8日(日)	茨城の深海生物	中学生以上	15	17	中止

・参加型事業「さかなの絵コンクール」(1事業，参加者236人)

展示生物を題材に絵画の制作機会を提供(10月に4回)。

館内展示：12月8日(日)〜1月6日(月)，表彰式：12月8日(日)

イ レクチャー及び展示解説（給餌タイム時の参加者人数は、職員がカウント）

展示生物や自然・環境に対する理解を深めてもらうために、入館者を対象に展示生物の生態系に関する解説サービスとして各種ショープログラムを実施した。

また、周年際に実施したプレミアム探検ツアーに関しては、有料ツアーとしての試みであったが大変人気がでて好評を得た。次年度に関しては、生物解説の一部（エトピリカ、ゴマフアザラシ、ペンギン）を飼育員へ移行する検討や、なるほど魚っちんぐ、アクアウォッチング、バックヤード探検ツアーの充実、有料プレミアム探検ツアーの開催時期や期間、内容の見直し等を図っていく考えである。

プログラム名	場 所	回 数	参加者数
なるほど魚っちんぐ	お魚発見教室内	通年(4回/日) 繁忙期(5~6回/日)	22,202人
アクアウォッチング	出会いの海の大水槽	通年(4回/日) 繁忙期(5回/日)	88,867人
エトピリカ給餌タイム	エトピリカ水槽前	通年(2回/日)	17,954人
ゴマフアザラシ給餌タイム	ゴマフアザラシ水槽前	通年(2回/日)	20,108人
ペンギンお食事タイム	ペンギン水槽前	通年(3回/日)	68,675人
バックヤード探検ツアー	館内バックヤード	平日(3回/日) 休日(4回/日)	11,894人
バックヤードウォーク	6F キーパーデッキ	4月28日(日)~5月6日(月・祝) 7月14日(日)~9月2日(月) 1月1日(水・祝)~1月6日(月)	105,517人
プレミアム探検ツアー	館内バックヤード	1月11日(土)~3月1日(日)	241人

※プレミアム探検ツアー：有料（高校生以上：1,000円、中学生以下：500円）

ウ コンピュータ情報運用管理

館内の情報端末において、水槽展示生物トピックス情報や環境保全、水族館の機能や役割等に関して情報発信を行ったほか、コンピュータシステムの正常な稼働を確保するための管理を行った。

※アクセス件数：1,509,620件（昨年度1,390,286件）、1日平均4,125件（昨年度3,810件）

エ ボランティア活動支援

ボランティアグループ「マンボラクラブ」の支援を行った。毎月1回役員会を開催し、要望の集約・活動課題、研修計画等の検討・整理を進めるとともに、クラブ員を随時募集して登録者の増加を図った。

ボランティア登録者数	71人（令和2年3月31日現在）
活動時間	延べ6,513時間
活動者数	延べ1,296人

※ボランティア役員会議11回実施

(主な活動実績)

実施日	内 容	参加者数
6月22日(土)	第18回マンボクラブ総会	36人
9月7日(土), 10月5日(土) 11月3日(日), 9日(土) 29日(金)	聴覚障害ボランティア育成プロジェクト 筑波技術大学との連携事業として、聴覚ボランティア育成の ための事前研修を実施	4人
10月26日(土)	全体研修(東京都多摩動物公園)	34人
11月2日(土)~4日(月・祝)	マンボラフェスタ	29人
1月26日(日)	外部講師による全体研修	30人
通 年	館内にてミニ探検ツアーを実施(計5回)	28人

オ 機関誌「Sea 遊」の発行

水生生物等への理解促進を支援するとともに、水族館のイメージアップ、広報を図るため、展示生物の興味深い生態やトピックス等の様々な情報を紹介する機関誌を年2回発行し、国内の動物園・水族館をはじめ、県内教育機関及び栃木県の小中学校、群馬県、千葉県、埼玉県の一部の小学校へ配付した。(発行部数：36号11,300部、37号11,300部)

カ 海の生き物科学館及びお魚発見教室展示機器等の運用管理

お魚発見教室内の書籍を充実させ、図書コーナーとし来館者の利便性を図った。

また、タッチングプールの改修工事(新規)を行い、小型のサメ類、タカアシガニ等を追加、4槽式とし10月10日から展示開始した。

キ 自然教室等への講師派遣

教育機関等の要請に応じ、水生生物や環境等をテーマとして各種館外活動を行った。

磯観察会では、主に熊谷市内の小学校29校が、大洗の海に生息するヒトデやウニなどの生物に触れる観察会を実施した。(派遣実績：49件、参加者総数15,832人)

区 分	実施日	対 象	内 容	参加者数
移動水族館	5月11日(土) 12日(日)	ひたち海浜公園 (誘客キャンペーンと共同)	タッチング水槽 なるほど魚っちんぐ	3,500人
磯観察会	5月20日(月) ~7月5日(金)	熊谷市内小学校	29校 (雨天時バックヤード見学)	1,687人
移動水族館	6月1日(土)	県立歴史館	タッチング水槽	720人
移動教室	6月12日(水)	水府学院	講話(サメ)	70人
移動水族館	6月29日(土) 30日(日)	フクダヤインターパーク 宇都宮 (誘客キャンペーンと共同)	タッチング水槽	3,000人
移動水族館	7月6日(土) 7日(日)	イオンモール与野 (誘客キャンペーンと共同)	タッチング水槽	2,000人
講師派遣	8月3日(土)	日立市赤羽緑地	講師(ザリガニ)	50人

移動水族館	8月3日(土)	鹿嶋スタジアム	タッチング水槽	100人
移動教室	8月28日(水)	県立こども病院	タッチング水槽 なるほど魚っちんぐ	20人
移動水族館	10月19日(土) 20日(日)	ひたち海浜公園 (誘客キャンペーンと共同)	タッチング水槽 なるほど魚っちんぐ	2,800人
移動教室	10月26日(土)	水産工学研究所	講話(サメ)	300人
講師派遣	11月7日(木)	那珂湊第三小学校	職業講話	150人
講師派遣	11月15日(金)	勝田第二中学校	職業講話	60人
講師派遣	11月24日(日)	大洗わくわく科学館	講話(イルカ)	50人
講師派遣	11月27日(水)	ひたちなか市立高野小学校	職業講話	60人
移動教室	11月24日(日)	青少年のための科学の祭典	タッチング水槽	500人
移動教室	12月12日(木)	県立盲学校	講話(ペンギン)	20人
移動教室	12月14日(土)	県立図書館	講話(ペンギン)	50人
移動水族館	1月18日(土) 19日(日)	水戸ロボッツ開幕戦 (誘客キャンペーンと共同)	タッチング水槽	500人
移動教室	2月4日(火)	大子町立南中学校	—	インフルエンザのため中止
講師派遣	2月13日(木)	水戸市立常澄中学校	職業講話	115人
移動教室	2月23日(日)	大子町立上小川小学校	講話(ペンギン)	80人
移動水族館	2月29日(土)	とちぎ海浜自然の家	—	コロナのため中止

ク 研修会等の受入れ

教育機関や団体からの要請に応じて、水生生物や飼育設備等をテーマとして各種館内活動を行った。

区分	対象	件数	参加者数
職場体験	中学生	24件	83人
バックヤード見学	小学生～大学・専門学校生	43件	2,007人
バックヤードウォーク	幼稚園生～小学生	1件	23人
ナイト探検	小学生	3件	144人

ケ 実習生等の受入れ

博物館相当施設として社会教育機能の役割を果たすため、実習生等を受け入れた。

(実習生・職場体験・インターンシップ等受入れ実績：64件、参加者総数122人)

区分	対象及び内容	参加者数
学芸員・飼育実習	大学・専門学校の単位取得を目的とした実習生の受入れ	35人
職場体験学習	中学生の将来の職業選択や勤労の意義を学ぶ場としての機会を提供	78人
インターンシップ	高校生・大学生の就業意識の向上や新たな学習意欲を喚起するための機会を提供。(うち1名は、みなと版デュアルシステム学生)	9人

コ 生物解説アプリ

新たな生物解説のアイテムとして、スマートフォンを活用した「かざす AI 図鑑」(リンネレンズ)の導入を行った。

(4) 交流・連携事業 (誘客促進)

首都圏を意識した情報発信に努め、主たる営業として、圏央道周辺の埼玉、千葉両県をはじめとした近隣地域に、移動水族館や観光キャンペーン、道の駅等公共施設へのリーフレット・チラシ等配布を行ったほか、県内外の市町村教育委員会を通じ、児童家庭へ割引券配布を実施した。約62万枚配布したうち、回収率は0.74%となり、昨年比0.09ポイントの増となった。

また、主にインターネットを利用し情報収集をしている若い世代への広報として、インターネットへの広告掲載を平成30年度に引き続き行ったほか、SNSや主要新聞社、テレビ・ラジオ局などマスコミを活用した情報発信に努めた。

夏期特別企画では、人気キャラクター「ピングー」とコラボレーションした「ピングーサマーフェス」の周知広報を行い、ペンギンをテーマに生態や当館での飼育の様子を映像や標本を用いて紹介したほか、南極の氷を触る体験やピングーと触れ合えるグリーティングなどを実施した。

閑散期対策事業として、大洗町を舞台としたアニメ「ガールズ&パンツァー」の声優を招いたトークイベント及びコラボレーション展示を実施し、アニメファンの集客に努めるとともに、大洗町の観光振興に寄与した。

連携事業では、茨城・栃木・群馬・福島4県の動物園水族館9園館による「ファイト9」連携キャンペーンを栃木県ながわ水遊園で開催(6月16日)し、園館のマスコットキャラクターが集合してPRを行った。

ア 広報実績

県内及び千葉県・埼玉県・栃木県などの若者や女性を対象としたメディアを活用しPRに努めたほか、テレビ・ラジオや新聞等の取材には積極的に対応し、当館の魅力を紹介した。

インターネット広告として、ポータルサイトの大手である「Google」や「Yahoo! JAPAN」の広告配信システムを利用し、当館のターゲットとする客層(趣味が旅行、動物好き...等)へ情報発信を行ったほか、レジャー先選定の決定権を持つ主婦層を対象にチラシ閲覧アプリ「shufoo!」へ広告を掲載しPRを行った。

さらに、夏のファミリー層向けレジャー情報誌「夏ぴあファミリー」への広告掲載を行ったほか、首都圏の若い女性を意識した広報として、東京ガールズコレクション《秋冬号》の公式冊子に大型広告を掲載し、流行の発信者である女性に対するPRを行った。

広報媒体等	有料広報			無料広報		
	令和元年度	平成30年度	比較増減	令和元年度	平成30年度	比較増減
新聞掲載	16件	23件	△7件	185件	218件	△33件
タウン誌	6件	8件	△2件	5件	12件	△7件
情報誌	16件	24件	△8件	73件	93件	△20件
広報誌	5件	16件	△11件	6件	21件	△15件
テレビ	36件	36件	0件	49件	48件	1件
ラジオ	6件	2件	4件	4件	3件	1件
Web	44件	32件	12件	36件	20件	16件
その他	1件	9件	△8件	13件	2件	11件
計	130件	150件	△20件	371件	417件	△46件

①有料広報

令和元年度の有料広報活動は、前年度に引き続き本県及び近隣県である栃木、群馬、千葉県埼玉を中心に、各ジャンルの媒体を用いて広報活動を行った。

近年のスマートフォン普及拡大に伴い、前年度に比べ新聞、タウン誌、情報誌などの紙媒体の広報を絞り、WEB系の広報媒体を強化しながら経費節減を図った。

前年度に引き続き Google 広告「GDN」や「Yahoo!JAPAN」インフィード広告の発信により、県外のスマートフォン・PC ユーザーへの広報を行ったほか、新規試みとしてチラシ閲覧アプリ「shufoo!」を活用し、関東地方 1 都 6 県のスマートフォン・PC ユーザーへ夏期特別企画「ピンゲーサマーフェス」及び第 28 回企画展「THE サバイバル」のチラシを配信した。

②無料広報

令和元年度の無料広報については、前年度同様に新聞、テレビ・ラジオ等のマス・メディアへの情報発信のほか、各種タウン誌・情報誌へ引き続き情報発信を行った。

また、令和元年度は WEB メディアによる情報発信が増加し、有料広報と合わせて多くのスマートフォン・PC ユーザーへ情報発信を行うことができた。

イ 記念式典事業

入場者 2000 万人と年間入場者の節目となる式典開催と関連催事を実施した。

式典名	実施日
入場者 2000 万人達成記念セレモニー	9月7日(土) 開館より 6,380 日目
年間入場者 100 万人達成セレモニー	2月22日(土) 328 日目

ウ アンケート調査の実施

- ・毎月第 4 日曜日車輛調査、特定日調査 (GW, お盆)
- ・毎月第 4 日曜日入館者調査

エ 催事等

17 事業を実施した。前年度は 11 事業だったが、新たな客層への誘客を狙い、ヨガやパステル画展などの新規イベントを追加した。10 月に仲間入りしたカナダカワウソは、夏より館内にて PR を兼ねた名前募集イベントを実施し、1 万通を超える応募があり、同様のイベントと比較して大きな反応があった。例年実施している七夕やクリスマスといった季節催事は館内装飾を中心に実施しているが、七夕に夜間の探検ツアーを実施するなど新しいプログラムを取り入れた。

しかし、特別感のあるプログラムは人数制限があり、大規模な誘客に結び付かないため、各催事において課題となっている。

(催事)

実施期間	催事名	入場者数
2月23日(土) ～4月7日(日)	開館17周年記念イベント 「アクアワールド☆感謝祭 2019」	125,630 人
4月27日(土) ～5月6日(月・祝)	GWイベント 「キッズカーニバル 2019」	97,865 人
6月4日(火) ～7月7日(日)	七夕イベント 2019 キラキラ七夕ナイトツアー※7月6日(土)実施	90,888 人 参加者数 36 名 応募者数 79 名
7月1日(月) ～7月31日(水)	第44回動物愛護標語募集	102,459 人 応募作品数 56 通
8月8日(木)	サマーナイト 2019	6,273 人
8月25日(日) 9月15日(日)	アクアワールド・大洗ヨガイベント 「Aquarium Yoga」	イベント参加者 ①16 人・②19 人
9月8日(日)	すしイベント「水族館を食べよう」	4,796 人
9月14日(土) ～10月14日(月・祝)	辻友紀子 ひかりのパステル画展	77,549 人
9月14日(土) ～10月31日(木)	ハロウィン☆パーティー 2019	125,326 人
10月26日(土)	カナダカワウソお披露目会	2,635 人 応募数 11,572 通
11月1日(金) ～12月1日(日)	人気コンテスト「決定! 鮫王選手権!!」	76,156 人 応募数 3,966 通
11月1日(金) ～12月1日(日)	年間パスポート所持者限定プレゼント 2019	イベント参加者 7,732 人
10月21日(月) ～12月15日(日)	企画展示室利用イベント 「シャークフォト」	120,817 人 参加組数 6,411 組
11月23日(土・祝) ～12月25日(水)	アクアワールドクリスマス 2019	52,395 人

12月15日(日)	ガールズ&パンツアートークイベント 「トークショー付きイベント・貸切水族館」	イベント参加者 抽選 683 人
1月4日(土)	2020年今年の漢字 1文字発表イベント	5,293 人
2月1日(土) ～3月31日(火)	開館18周年記念イベント 「アクアワールド感謝祭 2020」	104,950 人
計	17 事業	1,001,482 人

(特別展)

企画展示室を利用した特別展を2事業実施した。夏期特別企画では、平日はスタンプラリーを実施し、週末は着ぐるみイベントや粘土工作などのワークショップを行い、子供たちが楽しめる内容とした。例年と異なり、生体展示ではなくパネルや映像等を中心とした展示にしたが、来館者の満足度を保つことができ、今後の特別展の実施方法として良い機会となった。ただし、特別展自体が大きな誘客につながる結果は得られず、年間でも多くの予算を占めるため、今後は収支も踏まえて実施内容を見直す必要がある。

実施期間	催事名	入場者数
7月13日(土) ～9月1日(日)	夏期特別企画「ピングーサマーフェス」	276,748人
11月16日(土) ～12月15日(日)	「ガールズ&パンツァー×アクアワールド・大洗」展vol.2	52,674人

(企画展)

今年度より担当課を変更し、2事業を実施した。第28回企画展は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため開催期間が短くなったほか、計画していたすべての付帯事業を中止とした。展示内容も一部変更したため、本来の展示効果が得られなかった。特別展と同様に、どちらの企画展も目に見える誘客効果があったとは言い難く、今後は収支を考えてテーマや内容を見直す必要がある。

実施期間	催事名	入場者数
平成31年1月26日(土) ～令和元年5月6日(月)	第27回企画展 「食ざんまい～いばらきおさかな天国～」	308,344人
令和2年1月11日(土) ～4月10日(金)	第28回企画展 「THE サバイバル～海の中を生き残れ!!～」	147,527人

(キャンペーン及び誘客営業)

移動水族館を中心に11事業を実施した。前年度は18事業であったが、前年実績から効果が見られない事業は中止し、ロボットの試合会場など新規事業を取り入れた。2月以降は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、例年実施される春のイベントが中止となり実施数が減少した。今後も誘客により効果的なキャンペーンを取り入れていく。

実施日	キャンペーン名
5月11日(土)～12日(日)	PR キャンペーン(イオンモール土浦)
5月11日(土)～12日(日)	花海廊春・移動水族館(国営ひたち海浜公園)
6月1日(土)	茨城県フェア(イオンモールつくば)
6月16日(日)	ファイト9連携キャンペーン(栃木県なかがわ水遊園)
6月29日(土)～30日(日)	FKD キャンペーン・移動水族館(フクダヤインターパーク)
7月6日(土)～7日(日)	いばらきの夏観光キャンペーン・移動水族館(イオンモール与野)
10月2日(水)～3日(木)	第28回ふるさと観光展(仙台駅コンコース)
10月5日(土)～6日(日)	PR キャンペーン(イオンモール土浦)
10月19日(土)～20日(日)	花海廊秋・移動水族館(国営ひたち海浜公園)
11月17日(日)	PR キャンペーン(イオンモール北戸田)
1月18日(土)～19日(日)	大洗町PRデー・移動水族館(アダストリアみとアリーナ)
通 年	県内外集客施設及び観光施設リーフレット等配付 (県内外の道の駅等の集客施設に割引券付リーフレットの配布)
通 年	観光エージェント訪問(期間限定商品等の県内外への営業訪問の実施)
通 年	チラシ・ポスター送付及び各県民の日割引の周知活動 (茨城県, 栃木県, 埼玉県, 千葉県, 群馬県等への情報提供 他)
通 年	県内外の小学校への営業活動 (茨城県, 栃木県, 千葉県等の小学校へのチラシ・割引券の配布)
通 年	マスコットキャラクターの活用 (ハロウィン衣装, クリスマス衣装を制作し, 来館者のお出迎え 他)

(5) 管理運営部門

ア 管理運営

入場者の安全確保及び迅速な避難誘導を行えるよう、通常実施している消防訓練のほか、地震による津波を想定した防災訓練や、AED 及び救命救急講習を開催し、危機管理対応力の向上に努めたほか、原発事故の風評被害払拭のため、放射線量の測定を毎日継続するとともに、その結果をホームページにて日々公表し安全性のアピールにも努めた。

ゴールデンウィーク期間やお盆期間等の繁忙期における駐車場混雑緩和対策としては、大洗港第4埠頭を臨時駐車場として借用し、無料のシャトルバス運行を行った。さらに、渋滞緩和策として、隣接する大洗公園駐車場の一部を借用し、入場者へのサービス向上に努めた。

(7月13日(土)～8月18日(日))

イ テナント関連事業

マーケットプレイス連絡会議の事業では、休館日を利用しておもてなし向上セミナーを受講するとともに、八景島シーパラダイスの商業施設を視察し、先進施設のノウハウの習得に努めた。

また、サービス向上を図るとともに、季節の飾りつけなどで賑わいのある演出を行い、利用促進を行った。

ウ 施設整備

中長期修繕計画を基本に各種修繕工事を実施するとともに、強風や台風といった自然災害等による突発的な修繕に対応するなど安全対策に努めたほか、昨年度に引き続き、世界の海・タッチングプール他無線 LAN 設備を設置し、すべての来館者スペースで利用が可能となった。また、ラッコからカワウソへの展示替えに伴い水槽内の改修を実施したほか、延べ 162 件（昨年 215 件工事）の修繕工事を実施し施設環境の向上に努めた。

さらに、機械設備の経年劣化に対応するため、3, 4, 5 階アトリウム系統の空調設備更新工事や、建築設備として外壁塗装改修工事、屋上防水の改修など大型工事を実施した。計画修繕のなかで、ヒートポンプチラー更新（2 台、2 年計画 1 年目）及び 5 階機械室バックヤード給排気ファン更新は納期に時間がかかり、計画どおり実施できなかったため令和 2 年度まで工期延長となった。

省エネルギーに関しては、省エネルギー委員会を毎月開催し、職員の省エネ意識の向上を図るとともに、省エネ対策として、上水や海水の使用量の見直しや LED 照明への転換を進め省エネに努めた。省エネ結果として、省エネ法で定めるエネルギー使用量 5 年平均 1 % 以上削減目標を達成し、前年比 3 % 削減することができた。2016 年度から事業者クラス分け評価制度において、4 年連続 S クラス省エネ優良事業者（目標達成事業者）として、資源エネルギー庁のホームページで公表されている。

4 収益事業 2（水族館売店事業）

（1）物販部門

地域に貢献する観光拠点施設としての役割を踏まえ、スーベニアショップ「モラモラ」及びミュージアムショップ「ガレオス」は、各々のコンセプトを基に商品構成を工夫し、店舗づくりに努めた。

モラモラにおいては、ホームページや館内マップを利用した商品案内などを行った。特に夏期特別企画でのピンゲグズや、第 28 回企画展オリジナル商品の展開など、館内展示と併せた構成に努めた。

また、新規飼育のカナダカワウソの展示に併せ、カワウソをモチーフにした菓子や雑貨、ぬいぐるみ等を導入し、販売促進に努めた。更に、車関連商品（カーサイン・カーステッカー）などの新規商品を導入し、売上促進を図った。

昨年からはじめた正月の福引カプセル販売は、1 日 500 個の販売を 800 個に増やし 2 日間販売したが、両日とも昼過ぎに完売することができた。

ミュージアムショップ「ガレオス」では、店舗名であるサメを意識した商品や、専門性のある商品を充実させて、売上向上に努めた。

入り口ディスプレイ変更で立ち寄りやすいイメージづくりに努めたほか、オリジナルタンブラーを作成し、マーメイドギャラリーでドリンク割引を特典とすることで、利用促進を促し、新たに掲げた海洋汚染への対応など、プラスチックごみの削減を目指した海洋環境への配慮をアピールした。

(2) 飲食部門

コーヒーショップ「マーメイドギャレー」においては、昨年度から海洋汚染や環境問題に取り組む姿勢を打ち出し、紙ストローへの転換や、その他一部であったカトラリー類の変更も全て木製に切り替え、目標を達成することができた。また、ガレオスとのコラボにより、オリジナルタンブラーでのドリンク割引販売を実施し、リデュースの利用促進にも努めた。

また、タピオカドリンクのブームに併せて3種類のタピオカドリンクを販売し、人気メニューとして売上促進を図った。

2月下旬からは新型コロナウイルス感染拡大の影響により、PRが難しい時期であったが、周年祭に合わせ、新規計画のあったオリジナルサメドッグ、かわうそパンケーキの販売を開始した。

人気メニューや新商品の導入により、昨年度と変わらない売上高を計上することができた。

(売上実績)

(単位：円)

物販部門		飲食部門	
区分	売上金額	区分	売上金額
モラモラ・ガレオス (前年度) (前年度比)	559,889,812 (587,158,767) (△27,268,955)	マーメイドギャレー (前年度) (前年度比)	84,454,460 (84,830,650) (△376,190)
自動販売機 (前年度) (前年度比)	8,172,303 (9,346,551) (△1,174,24)	—	—
計 (前年度) (前年度比)	568,062,115 (596,505,318) (△28,443,203)	計 (前年度) (前年度比)	84,454,460 (84,830,650) (△376,190)
水族館売店事業合計 (前年度) (前年度比)		652,516,575 (681,335,968) (△28,819,393)	

※売店事業全体の売上実績は、前年度比で△28,819千円余となり、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により3月の△32,688千円余のマイナスが大きく影響した結果となった。

※ガレオスとマーメイドは、2月累計でそれぞれ前年度比1,689千円、4,902千円のプラスであり好調であった。

(利用率)

物販部門		飲食部門	
区分	数値	区分	数値
総入場者数 (A) (前年度)	1,054,343 人 (1,119,813 人)	総入場者数 (A) (前年度)	1,054,343 人 (1,119,813 人)
利用件数 (B) (前年度)	281,671 件 (311,488 件)	利用件数 (B) (前年度)	93,045 件 (97,521 件)
利用率(B) / (A) (前年度)	26.7% (27.8%)	利用率(B) / (A) (前年度)	8.8% (8.7%)

※利用件数は、レシート発行数による利用。

5 法人運営事業

茨城県立県民文化センター及びアクアワールド茨城県大洗水族館を効果的効率的に運営管理するため、理事会及び評議員会をはじめ、諸会議の開催、財務及び組織の管理、第4期中期経営計画の進行管理等を行ったほか、ストレスチェックを財団全体で実施しメンタルヘルスケアの強化にも努めた。

項 目	開催日	議 案
監事監査	5月13日(月)	平成30年度事業報告及び決算等
令和元年度第1回理事会 (出席人数 8/12)	5月15日(水)	第1号議案：平成30年度事業報告及び決算について 第2号議案：令和元年度定時評議員会の開催について
令和元年度定時評議員会 (出席人数 8/11)	5月31日(金)	第1号議案：評議員の選任について 第2号議案：理事の選任について 第3号議案：平成30年度事業報告及び決算について
令和元年度第2回理事会 (決議の省略による理事会)	5月31日(金)	提案事項1：代表理事及び業務執行理事の選定について
監事監査	11月5日(火) 6日(水)	令和元年度上半期事業報告及び決算等
令和元年度第3回理事会 (出席人数 10/12)	11月14日(木)	第1号議案：令和2年度上半期自主公演事業の計画(案)及び収支見込み(案)について
令和元年度第4回理事会 (決議の省略による理事会)	12月25日(水)	第1号議案：重要な建物附属設備処分の件 第2号議案：重要な什器備品の処分の件
令和元年度第5回理事会 (出席人数 10/12)	2月20日(木)	第1号議案：令和元年度臨時評議員会の開催について
令和元年度第6回理事会 (出席人数 10/12)	3月23日(月)	第1号議案：令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 第2号議案：「働き方改革」対応等に伴う諸規程の改正(案)について 第3号議案：専務理事選定の件 第4号議案：重要な使用人の選任の件
令和元年度臨時評議員会 (出席人数 9/11)	3月23日(月)	第1号議案：評議員1名選任の件 第2号議案：理事1名選任の件

Ⅱ 決算報告書

○ 正味財産増減計算書	24	～	25
○ 正味財産増減計算書内訳表	26	～	27
○ 貸借対照表	28	～	29
○ 計算書類に対する注記	30	～	33
○ 附属明細書	34		
○ 財産目録	35	～	36

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	36,172,724	60,133,739	△ 23,961,015
預金	506,860,919	524,175,782	△ 17,314,863
普通預金	506,860,919	524,175,782	△ 17,314,863
定期預金	0	0	0
有価証券	0	0	0
前払費用	112,500	0	112,500
仮払金	36,427,768	10,424,885	26,002,883
未収金	23,827,040	38,217,828	△ 14,390,788
貯蔵品	23,056,067	25,376,224	△ 2,320,157
流動資産合計	626,457,018	658,328,458	△ 31,871,440
2 固定資産			
(1) 基本財産等			
基本財産	30,000,000	30,000,000	0
茨城県債貸付	30,000,000	30,000,000	0
基金財産	0	0	0
有価証券	0	0	0
普通預金	0	0	0
基本財産等合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	544,207,465	557,876,221	△ 13,668,756
助成事業積立資産	535,000,000	535,000,000	0
文化振興事業積立資産	58,331,484	58,325,851	5,633
施設設備修繕等積立資産	216,270,955	216,245,919	25,036
事業資金積立資産	213,396,174	213,388,766	7,408
緊急時対応積立資産	231,403,414	231,400,841	2,573
特定費用準備資金	59,796,142	73,394,336	△ 13,598,194
文化活動助成事業資金	59,796,142	73,394,336	△ 13,598,194
発電機修繕等準備資金	0	0	0
資産取得資金	128,757,425	148,948,110	△ 20,190,685
減価償却資産取得資金	128,757,425	148,948,110	△ 20,190,685
特定資産合計	1,987,163,059	2,034,580,044	△ 47,416,985
(3) その他固定資産			
建物	0	2,733,508	△ 2,733,508
建物減価償却累計額	0	△ 2,529,702	2,529,702
構築物	44,869,210	44,869,210	0
構築物減価償却累計額	△ 36,642,376	△ 35,040,425	△ 1,601,951
車両運搬具	4,852,024	4,852,024	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 3,589,699	△ 2,959,484	△ 630,215
什器備品	177,459,726	193,728,721	△ 16,268,995
什器備品減価償却累計額	△ 142,366,988	△ 170,581,897	28,214,909
リース資産	40,361,760	23,126,760	17,235,000
リース資産減価償却累計額	△ 12,791,484	△ 7,006,932	△ 5,784,552
電話加入権	307,545	307,545	0
投資有価証券	50,000	0	50,000
その他固定資産合計	72,509,718	51,499,328	21,010,390
固定資産合計	2,089,672,777	2,116,079,372	△ 26,406,595
資産合計	2,716,129,795	2,774,407,830	△ 58,278,035

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	191,594,326	204,282,658	△ 12,688,332
仮受金	39,722,497	49,620,838	△ 9,898,341
前受金	13,857,052	17,635,429	△ 3,778,377
短期借入金	0	0	0
流動負債合計	245,173,875	271,538,925	△ 26,365,050
2 固定負債			
長期借入金	0	0	0
退職給付引当金	544,207,465	557,876,221	△ 13,668,756
リース負債	27,570,276	16,119,828	11,450,448
仮受金	0	0	0
固定負債合計	571,777,741	573,996,049	△ 2,218,308
負債合計	816,951,616	845,534,974	△ 28,583,358
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産	565,000,000	565,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(535,000,000)	(535,000,000)	(0)
2 一般正味財産	1,334,178,179	1,363,872,856	△ 29,694,677
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(907,955,594)	(941,703,823)	(△ 33,748,229)
正味財産合計	1,899,178,179	1,928,872,856	△ 29,694,677
負債及び正味財産合計	2,716,129,795	2,774,407,830	△ 58,278,035

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定財産の明細は，計算書類に対する注記 2，基本財産及び特定資産の増減及びその残高に記載のとおりである。

2 引当金の明細

引当金の明細は，計算書類に対する注記 8，引当金の明細に記載のとおりである。

